

第4回 蓄電池のサステナビリティに関する研究会 議事要旨

日時：2023年4月21日（金） 10時00分～11時45分

場所：オンライン会議（Microsoft Teams）

【議事要旨】

「資料2 蓄電池のサステナビリティに関する研究会の開催について（案）」「資料3 蓄電池のカーボンフットプリント」「資料4 蓄電池の人権・環境デュー・ディリジェンス」「資料5 データ連携」について、事務局から説明。メンバーからの発言要旨は以下のとおり。

○ 資料2 蓄電池のサステナビリティに関する研究会の開催について（案）

- ・ 事務局を製造産業局 自動車課から商務情報政策局 情報産業課 電池産業室に移管し、蓄電池産業戦略検討官民協議会の分科会として位置付けることに異論なし。

○ 資料3 蓄電池のカーボンフットプリント

- ・ 試行事業含め取組が前進していることが理解できた。
- ・ 今後は国際連携が重要。特に取組が先行している欧州だけでなく、米国や韓国を含めての対応に業界団体も協力していきたい。
- ・ 国内の要件化については、サプライチェーン全体での対応に時間を要するので、適切なタイミングでアナウンスしていただけるとありがたい。

○ 資料4 蓄電池の人権・環境デュー・ディリジェンス

- ・ 試行事業含め取組が前進していることが理解できた。
- ・ 事業者が自ら現地に赴いて調査するのは難しい部分もあるので、第三者認証を取り入れていくという方針には同意する。
- ・ 事業者の負担を軽減する実施スキームを作成し、どこまで統一化できるかが課題と認識した。

○ 資料5 データ連携

- ・ 全体としてスピード感を持って取組が前進していることが理解できた。
- ・ 各事業者が協調領域として取り組み、蓄電池 CFP/DD だけでなく他のユースケースにも広げていく方針には賛同する。ビッグデータとして産業戦略にも活用できるのではないか。
- ・ データ基盤を共通化すること業界横断的にコスト削減も見込まれる。